

南関町でも新型コロナ感染発生。 コロナ・豪雨二次災害・熱中症へ万全の対策を！

7月16日、令和2年7月豪雨の影響が懸念された、友の会会員さん宅を訪ねました。

予想通り裏山が崩れ（写真右上）家の寸前まで押し寄せていて、落ちた瓦もバラバラに（写真右下）。被害の大きさを実感しました。幸いながらケガはなく、みなさん笑顔で訪問を迎え入れてくれました。また、「自治協議会も支援してくれ、地域のつながりに助けられた」と、復旧の状況も教えてくれました。

訪問のテンポを上げ、さらに聞き取りを進めていきます。



関川沿いを走る県道5号線から29号線にかけても、令和2年7月豪雨の爪痕があらこちらに見られます。川沿いの道路が崩れ落ち、交通規制が行われている区間も（写真左）。

**お困りごと、お悩みごと
はさかき診療所にご相談
ください**



—2020年度計画推進—

地域の信頼が診療所運営の要。だからこそ**地域に役立つ医療**をめざします



7月2日、さかき診療所へマスクを提供していただいた株式会社ヤマチクさんへお礼にうかがいました。

山崎彰悟専務と、手作りマスクを作成された社員の田上裕美さんが対応され、工場見学も案内していただきました（写真左）。

（さかき診療所 PJ事務局）



「新型コロナウイルス感染拡大防止とたたかう医療従事者と介護職員のために」と手作りマスクと竹箸を無償提供された株式会社ヤマチクさん。竹箸の袋には、第一小学校と第二小学校の児童たちのメッセージが（写真右）。

「特技の裁縫を生かして何か役に立てたら」と手作りマスクを作成された田上さん（ピンクのエプロンの方）と山崎専務（田上さんの右の方）。ご対応ありがとうございます。